

コラム『海外の学会から』『世界の日本語教育』 執筆要領

『海外の学会から』『世界の日本語教育』は、日本語教育学会ウェブサイト内に設けられたコラムであり、世界のさまざまな国・地域における日本語教育に関するイベント、日本語教育事情、ならびに教育現場での実践的な取り組み等を広く紹介することを目的としています。

本コラムは、学会誌『日本語教育』に掲載される「論文」や「研究ノート」「実践報告」などとは異なり、査読を伴わない形式で掲載されます。皆様からのご執筆を心よりお待ちしております。

1. 執筆にあたって

1.1 執筆者の資格

執筆にあたって、日本語教育学会員、非会員を問いません。日本語教育およびその関連分野において、研究や実践などの活動を行っている方を対象とします。

1.2 執筆カテゴリー

本コラムは、以下の2つのカテゴリーに分かれています。

1.2.1 海外の学会から

日本国外で開催された日本語教育関連の学会、シンポジウム、研究会などのイベントについて、その概要・内容・特徴を紹介するものです。現地で注目されたテーマや議論された課題、地域の教育的動向などを伝えることを目的とした内容を想定しています。

1.2.2 世界の日本語教育

世界のさまざまな国・地域における日本語教育の実践や取り組みを紹介するものです。具体的には、教育現場での実践を通して、「いつ、どこで、誰が、何の目的で、何を行い、それによってどのような示唆が得られたか」を明らかにする内容を想定しています。また、日本語教育に関わる機関、組織、グループ、あるいは個人の実践を調査・分析し、その背景や方法、成果を考察する内容の原稿も受け付けています。

1.3 原稿受付時期

原稿は随時受け付けております。

2. 原稿について

2.1 使用言語

日本語でご執筆ください。コラム記事として広く読まれることを想定し、日本語教育を専門分野としない方にもわかりやすい表現を心がけてください。

2.2 原稿料

原稿料は発生しません。あらかじめご了承ください。

2.3 著作権

掲載された原稿の著作権は、原則として日本語教育学会に帰属します。

2.4 公開媒体

原稿は、学会ウェブサイト「むすぶ」(<https://www.nkg.or.jp/musubu/>)内の『海外の学会から』『世界の日本語教育』に電子版として掲載されます。また、執筆者ご自身の所属機関や個人のウェブサイト等での再掲載も可能です。再掲載を希望する場合の手続きについては、事務局へお問合せください。

2.5 掲載の可否

ご執筆いただいた原稿については、本要領に加え、当学会が定める「研究成果投稿に際しての『研究倫理』に関する留意事項」を踏まえたうえで、日本語教育学会国際連携委員会が掲載の可否を決定いたします。結果および、必要に応じた助言は、担当者より個別にご連絡いたします。

2.6 原稿の形式

原稿は、ウェブサイトに掲載されているテンプレートファイルをご使用ください。テンプレート内には、書式や記述方法に関する詳細が記載されています。

- ・『海外の学会から』：A4版1～3枚程度（横書き、ワープロ入力）
 - ・『世界の日本語教育』：A4版2段組で5枚程度を目安とします。
- 「むすぶ」に掲載されている過去のコラム記事もご参考ください。

3. お問合せ先

日本語教育学会事務局・国際連携委員会
gn-nkg@nkg.or.jp